

(ウ) 新しいアイデアを積極的に提案する雰囲気

図12は「新しいアイデアや手法を積極的に提案しようという雰囲気がある」と「仕事は面白い」のクロス集計結果を示したものである。新しいアイデアや手法を積極的に提案する雰囲気がある職場では、仕事は面白いと感じている人が43.7%になっている。他方、そのような雰囲気がない職場では、48.0%が仕事は面白くないと答えている。仕事は面白いと感じれば、更なる工夫をしようという気持ちになる。新しいアイデアや手法を積極的に提案することができる職場では、仕事も面白くなり、業務創造も起こりやすくなるという好循環が生まれると考えられる。

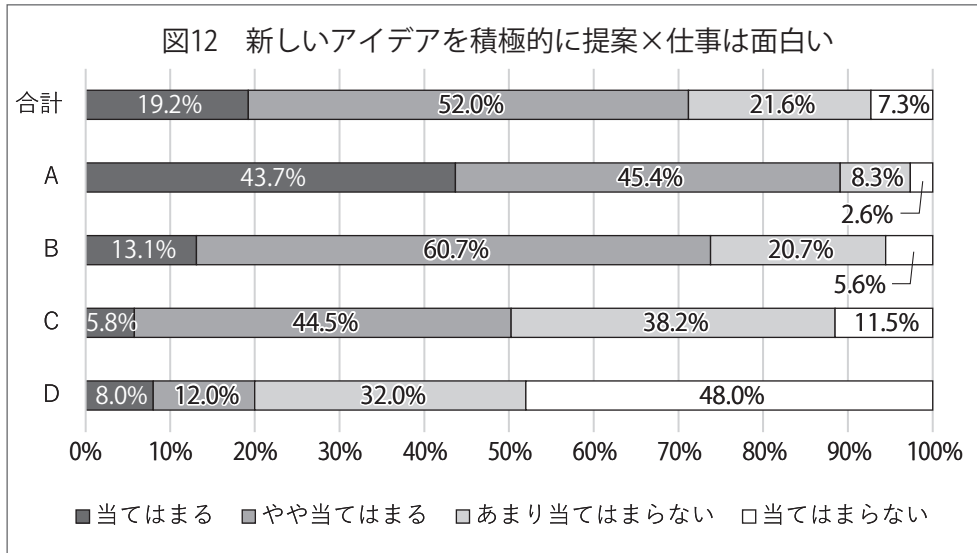


図13は、新しいアイデア・手法を積極的に提案しようとする雰囲気があることと、仕事にやりがいを感じていることの関係を示したものである。新しいことが提案できる職場では、51.5%の人が仕事にやりがいを感じている。「やや当てはまる」も含めると9割以上の人が、やりがいを感じながら仕事に従事していることになる。他方、そのような雰囲気がない職場では、半数強(52.0%)の人がやりがいを感じられないと答えている。新しいことを積極的に提案できる雰囲気があれば仕事に対して前向きになれるし、それがやりがいを生み出していると考えられる。

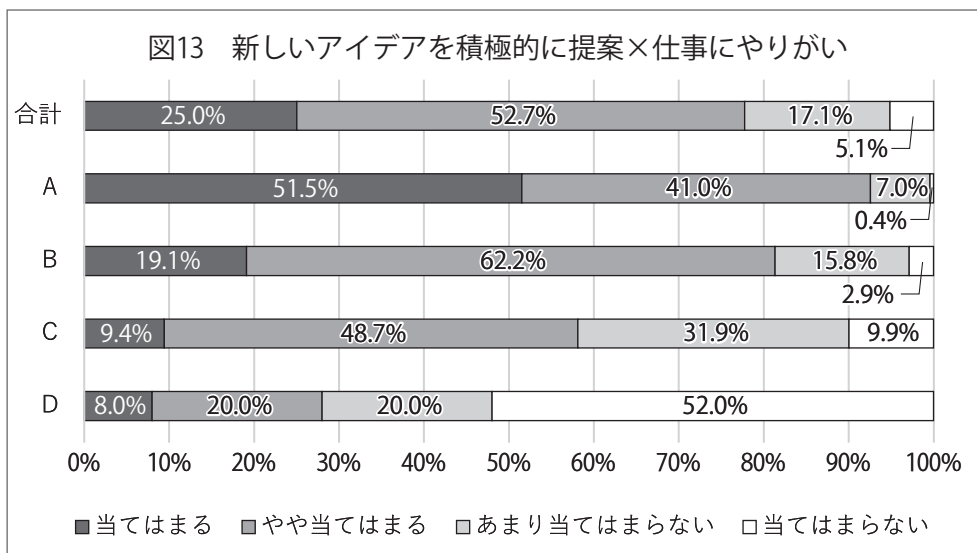


図14は、新しいアイデア・手法を積極的に提案する雰囲気と仕事の達成感の関係を示したものである。新しいアイデア・手法を提案できる職場では49.8%の人が仕事の達成感を味わうことができている。「やや当てはまる」も含めると約9割の回答者が達成感を味わっていることになる。他方、そのような雰囲気がない職場では、達成感を味わっている人は3割に満たない。新しいアイデア・手法を提案できることと仕事の達成感の間には、強い相関があることがわかる。

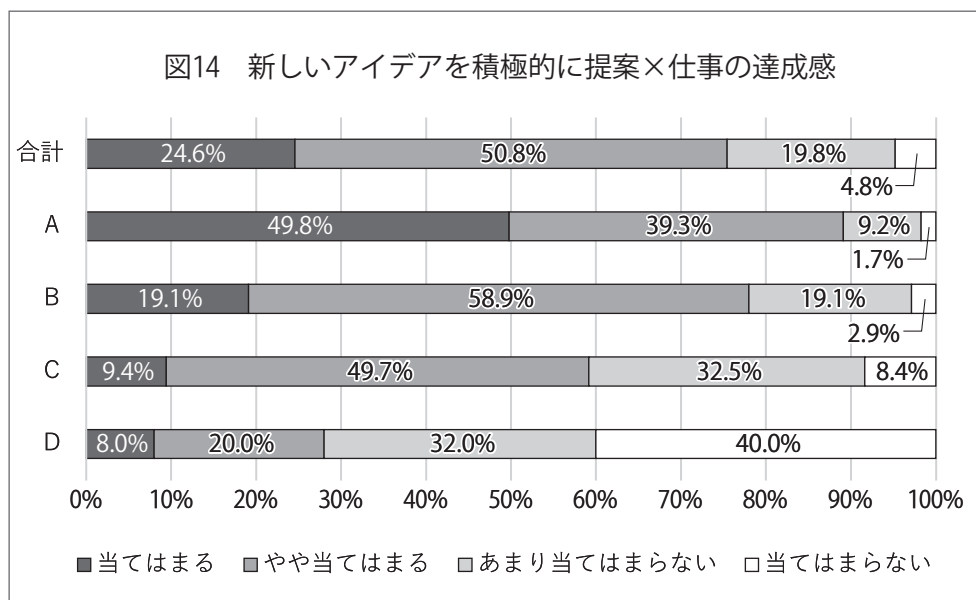


図15は、新しいアイデア・手法を積極的に提案できる雰囲気があることと、仕事を通じて成長していることとの関係を示したものである。そのような雰囲気がある職場では、実に57.6%の人が成長していると答えた。他方、そのような雰囲気がない職場では約3分の2の人が成長を感じられていない（「あまり当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）。新しいアイデア・手法を積極的に提案できることは、働く人たちの成長実感に深く関わっていることがわかる。

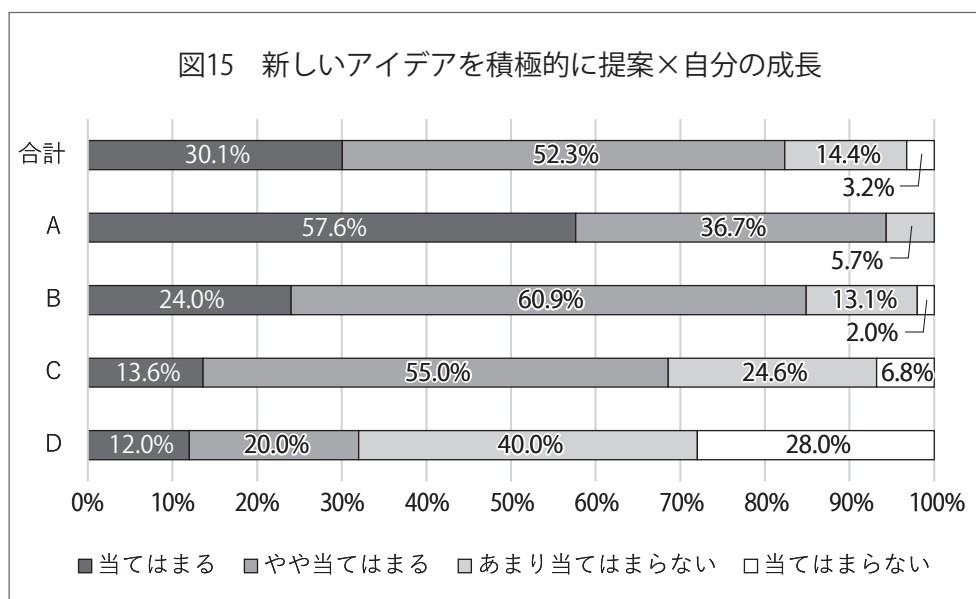
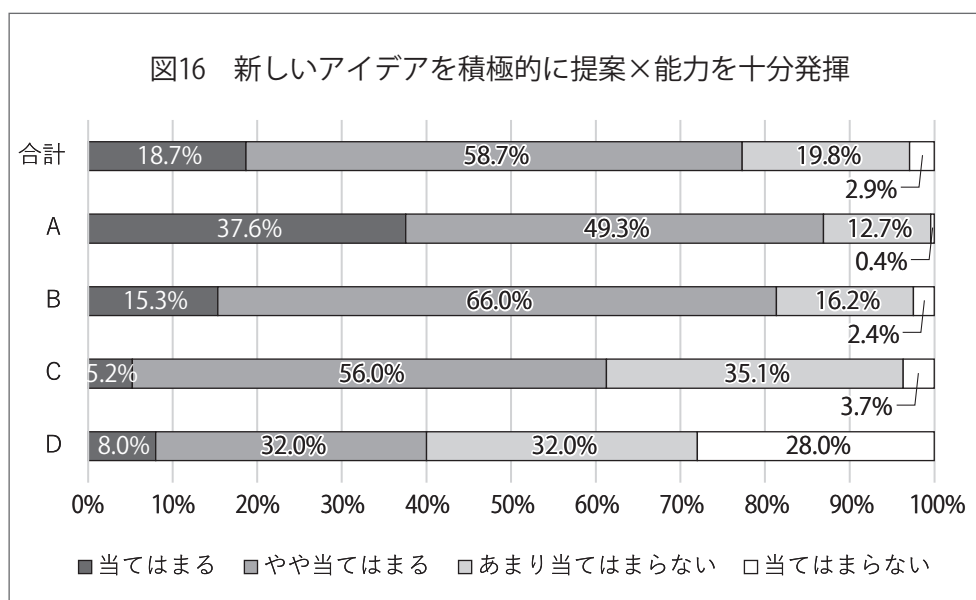


図 16 は、新しいアイデアや手法を積極的に提案する雰囲気があることと、自分の能力を十分発揮して働けていることとの関係をまとめたものである。そのような雰囲気がある職場では、37.6%の人が能力を十分に発揮できていると回答した。「やや当てはまる」も含めると9割近い人が能力を発揮できていると考えている。他方、そのような雰囲気がない職場では、28.0%が能力を十分に発揮できていないと考えている。新しいアイデアや手法を積極的に提案する雰囲気と能力を十分に発揮できていると感じられることの間には、相関があることがわかる。



以上をまとめると次のようになる。新しいアイデアや手法を積極的に提案する職場では、仕事は面白い(43.7%)、仕事にやりがいがある(51.5%)、仕事を通じて達成感を味わうことができている(49.8%)、仕事を通じて自分が成長している(57.6%)、自分の能力を十分発揮して働けている(37.6%)という結果になった。新しいアイデアや手法を積極的に提案する雰囲気が職場内にあることは、業務創造の必要条件を満たしていると考えられる。